

第三者評価委員会

① 第三者評価の枠組み

目的

事業期間の中間(3年目)及び終了時(6年目)に、事業の有効性及び短中期的インパクトを中心に評価を行って、今後の事業計画策定と実施への学びを得るとともに、説明責任を果たすことを目的とする。

実施時期(予定)

中間評価:2019年4月～6月

終了時評価:2022年5月～7月

事業概要,目標,評価指標

| | 事業概要と目標 | 評価指標 |
|--------------------|---|---|
| 事業活動 ↓ | 取組①:ダイバーシティ研究環境整備強化 取組②:女性研究者の研究力向上とリーダー育成 取組③:女性研究者の積極採用と上位職登用 取組④:ダイバーシティ研究環境実現モデル開発 | |
| 期待される 事業成果 ↓ | 1)女性研究者が働き続けやすい制度が整備される 2)研究力向上及びリーダーシップ研修を受けた女性研究者が一定量生まれる 3)女性研究者の採用数及び上位職へ登用数が増加する 4)ダイバーシティ研究の成果が生まれ、実践・検証される | 1)制度の利用状況,利用しやすさ 2)研修受講者数,研修受講者による研修評価結果 3)女性研究者の採用数,登用数 4)調査結果報告/発表,モデル開発状況 |
| 短期的効果 ↓ | (1)女性研究者が安心して安定的に働けるようになる (2)女性研究者の研究力が向上し,リーダーシップが強化される (3)女性研究者数が増加し,上位職にある女性研究者数が増加する (4)ダイバーシティ研究環境実現のためのモデルが開発される | (1)女性研究者の意識/意欲,上司/同僚の理解/支援 (2)女性研究者による外部資金獲得件数/論文数,女性リーダーの大型外部資金獲得件数,組織を超えての共同研究数 (3)女性研究者の全教員に占める割合/上位職に占める割合/組織運営の意思決定の場への参加状況,女性高校生の理工系関心度等 (4)モデル開発と普及状況 |
| 中期的効果 | ●先端的課題に取り組む女性研究者が増加し,活躍する ●多様性を受け入れるインクルーシブな研究体制が整備され,多様な知見や発想から研究成果や新製品が生まれる ●地域産業の国際化,国際競争力の向上に貢献する | ●地域的女性研究者,女性大学生及び高校生の意識/意欲 ●教育研究機関,自治体,民間企業等における研究開発体制 ●関係組織トップ等の意識/評価 ●グッドプラクティス事例 |